

事務事業名		後期高齢者医療保険料徴収事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	長寿医療係	担当課長名	片柳 利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 後期高齢者医療制度の円滑な運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	20611	後期特会	1	2	1	後期高齢者医療保険料徴収事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成20年度～ 年度		根拠法令 条例等	高齢者の医療の確保に関する法律、栃木県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例					
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		義務的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		賦課・収納事務			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
<p>○ 後期高齢者医療保険料の徴収に係る事務として徴収開始通知書や納入通知書を発送すると共に、徴収事務を行うものである。</p>		活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		賦課件数	件	100,188	100,607	100,900			
○ 開始通知、納付書等発送、徴収等事務を実施した。 消耗品費43千円、印刷製本費15千円、通信運搬費1,703千円、手数料254千円、電算委託料4,540千円、機械借上料376千円。									
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
○ 被保険者(75歳以上の方、一定の障がいのある65歳以上75歳未満の方)		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
		被保険者数(4/1現在)	人	16,160	16,276	16,359			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)									
○ 保険料徴収といった歳入の安定的な確保を継続することで、後期高齢者医療制度の円滑な運営に寄与するものである。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
		収納率(出納閉鎖期間末日現在)	%	99.6	99.6	99.4			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)									
○ 75歳以上の高齢者が健康づくりと疾病予防ができるとともに、安心して医療を受けられる。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
		後期高齢者医療保険料収納率	%	99.6	99.6	99.4	99.4	99.4	
		後期高齢者健康診査受診率	%	15.7	16.5	16.0	17.0	18.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)		
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投入量	国庫支出金	千円											
	県支出金	千円											
	地方債	千円											
	その他	千円	6,961	6,931	6,847								
	一般財源	千円											
	事業費計(A)	千円	6,961	6,931	6,847	0	0						
	事業費の内訳	消耗品費	千円	72	43	97							
		印刷製本費	千円	17	15	66							
通信運搬費		千円	1,678	1,703	2,097								
手数料		千円	246	254	288								
電算委託料		千円	4,584	4,540	3,923								
機械借上料		千円	365	376	376								
正職員従事人数		人	7	6	6								
のべ業務時間	時間	5,658	4,850	4,850									
人件費計(B)	千円	22,015	19,114	19,114	0	0							
トータルコスト(A)+(B)	千円	28,976	26,045	25,961	0	0							

事務事業名	後期高齢者医療保険料徴収事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	長寿医療係
-------	----------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	○ 20年度に後期高齢者医療制度が開始、市の事務分担として、徴収事務を担当することになり、開始されたものである。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	○ 20年に相談や徴収方法に関する政令改正があった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	○ 21年6月に一般質問(滞納状況、滞納人数)を頂いたほか、各予算・決算議会では、滞納者等が適切に医療を受けることが、できるものかどうか確認を頂いている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	○ 年間3度の強化時期を設定し、介護保険料の徴収と連携し、滞納者への納付指導、納付相談の戸別訪問を実施した。また、納付書発送時に口座振替の啓発を行い、被保険者の便宜と収納率向上を目指したものである。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	○ 保険料徴収を適切に実施することで、制度が円滑に運営され、被保険者(市民)の方が安心して、医療を受けることができるためである。	
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	○ 高齢者の医療の確保に関する法律等によって、市が行うことになっているものである。	
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	○ 高齢者の医療の確保に関する法律によって、後期高齢者医療制度を運営し、以て、被保険者が健康に過ごすことができるように、指向すると定まっている。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	① 引き続き、保険料滞納者への納付指導、相談等を実施する。 ② 今後も、普通徴収者で窓口納付者を、保険料通知書送付時をはじめとし、できるだけ口座振替利用へと勧奨をする。	
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	介護保険料徴収事務	
	類似事務事業があり統合・連携できる・している *類似事務事業があれば、名称を記入	理由・改善案	○ 該当者で重複する場合も多いので、介護保険課保険料係と、収納相談・戸別訪問などを、連携して、被保険者に臨んでいる。	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	○ 電算委託料をアウトソーシングに加わり削減しており、人件費も1名減と既にぎりぎりまで削減を行っているものである。	
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	○ 受益者負担は保険料の形で、被保険者には負担頂いているため、改めては馴染まないものである。	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
法令に定めがあるため、現行の法改正が行われない限り廃止等は、現実的ではない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ○ 滞納者への納付相談、口座振替未利用者への勧奨を図る。 ○ 介護保険課とも、これまで同様に協力関係を続けて納付率向上を目指す。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	○ 被保険者の方に、保険料が、長寿医療に必要なものであることを納得・理解頂いたうえで、納めて頂くよう、説明責任を果たさなければならない。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					